

4 ふじみ号の利用状況

(1) ふじみ号の路線図

ふじみ号の路線は次のとおりとなっています。

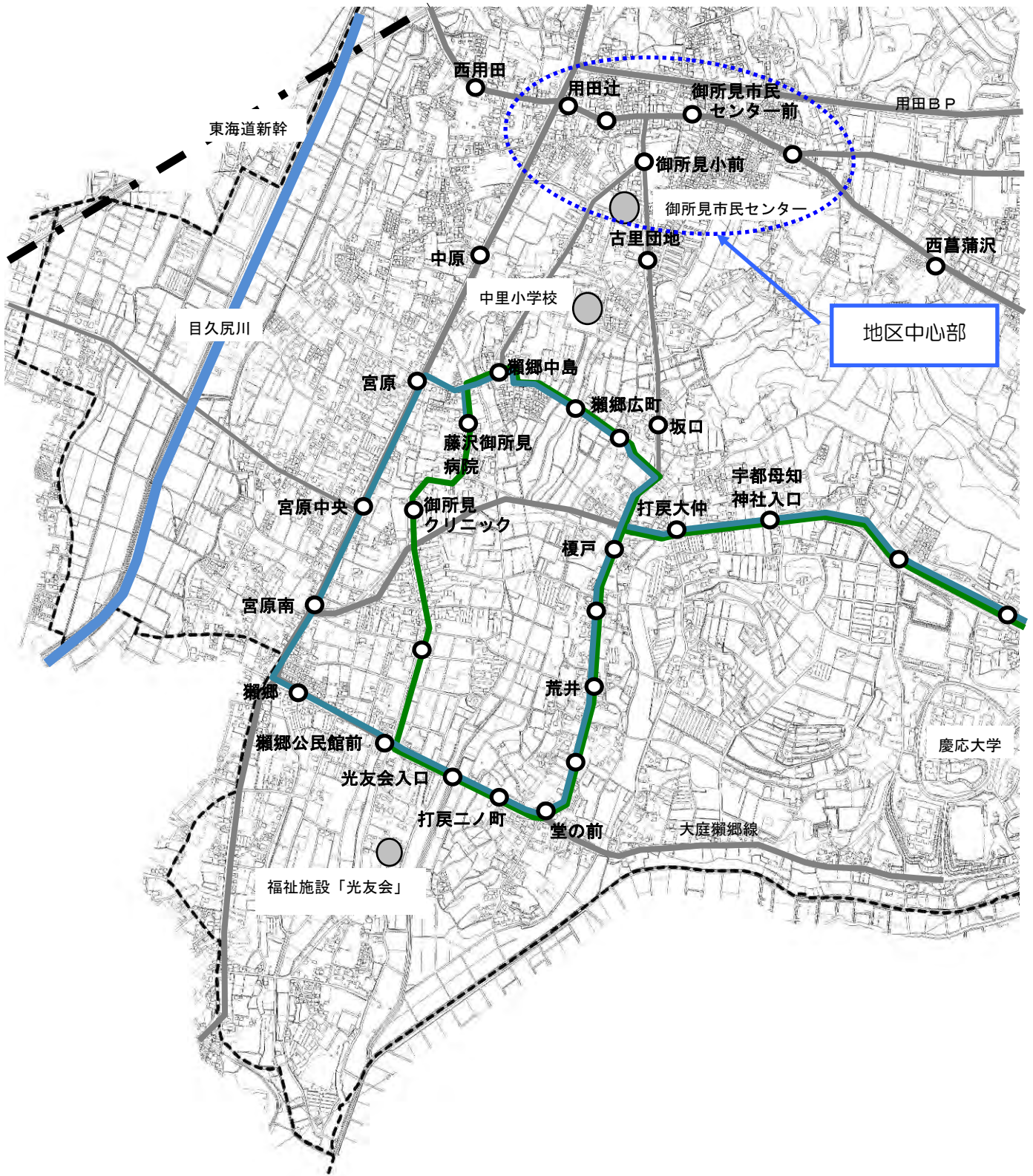


図-8 ふじみ号路線図

(2) ふじみ号の平日1日あたりの乗降客数

ふじみ号の平日1日あたりの乗降客数は次のとおりとなっています。このデータは、2013年（平成24年）8月6日から8月10日間のものです。

- 平日1日あたりの平均利用者数は約125人となっています。
- バス停の利用者は、慶応大学と光友会入口が他と比較して多くなっています。
- 御所見クリニック、瀬郷中島、瀬郷広町、打戻大仲等の利用者が多くなっています。
- 慶応大学から徒歩圏となるバス停の利用者はほとんどない状況です。
- 長17系統の乗入れのある宮原、宮原中央、宮原南の利用者は少ない状況です。
（午前中の通勤時間帯には運行されないルート）

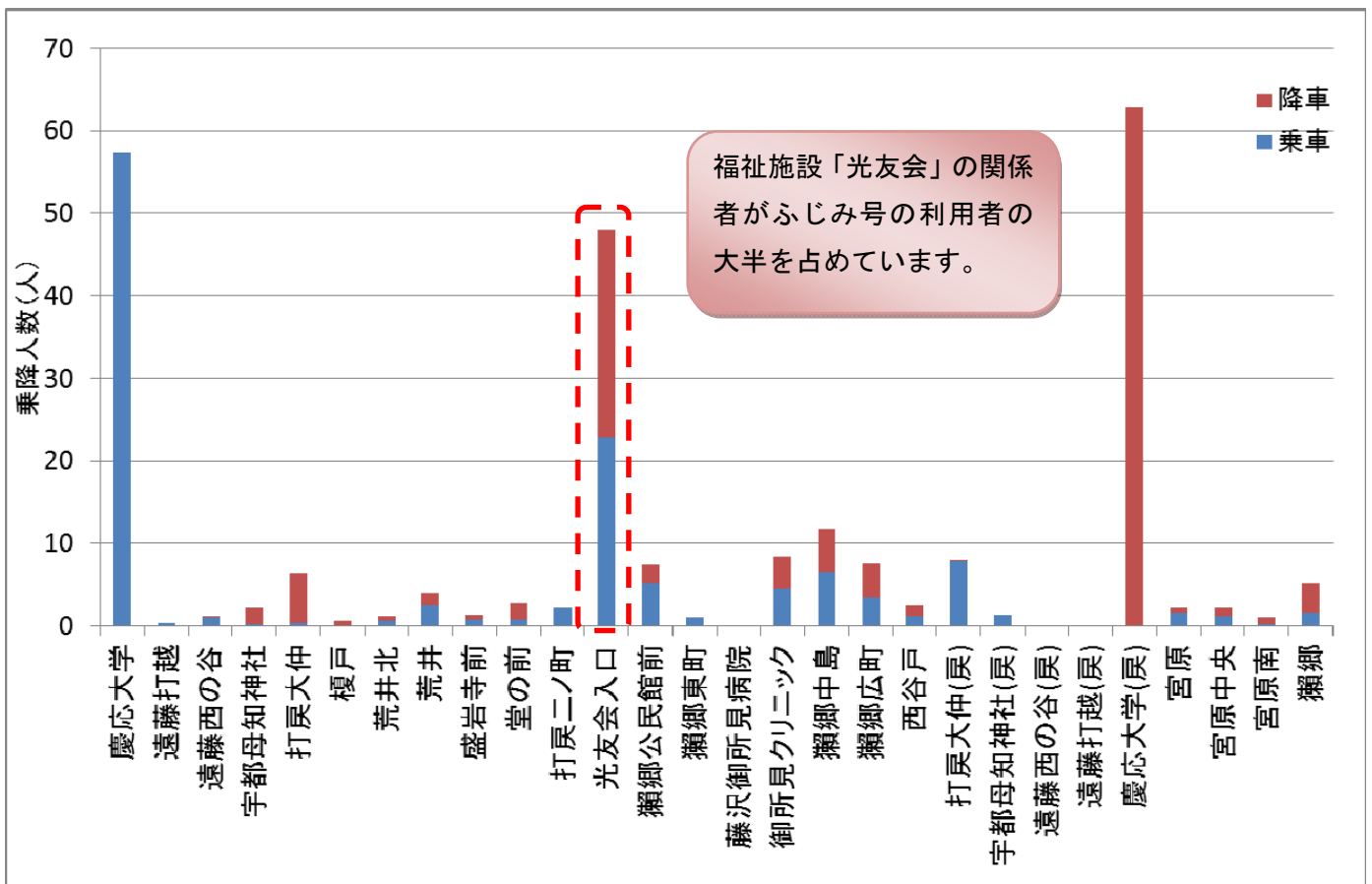


図 一 九 ふじみ号の平日1日あたりの乗降客数状況

【神奈川中央交通(株)データより作成】

(3) ふじみ号の平日1日あたりの時間帯ごとの乗降客数

ふじみ号の平日1日あたりの時間帯ごとの乗降客数は次のとおりとなっています。このデータは、2013年(平成24年)8月6日から8月10日のものです。

- 慶応大学の乗車は6時台から9時台の時間帯が多く、降車は、15時から18時台が多くなっています。
- 光友会入口の乗車は、15時から18時台が多く、降車は、6時から9時台が多く、ほぼ同じ人数の乗降があります。
- 光友会入口の乗降客は施設利用者の通所のために使用されていると考えられます。また、同じ時間帯の慶応大学の乗降者数も同程度となっています。

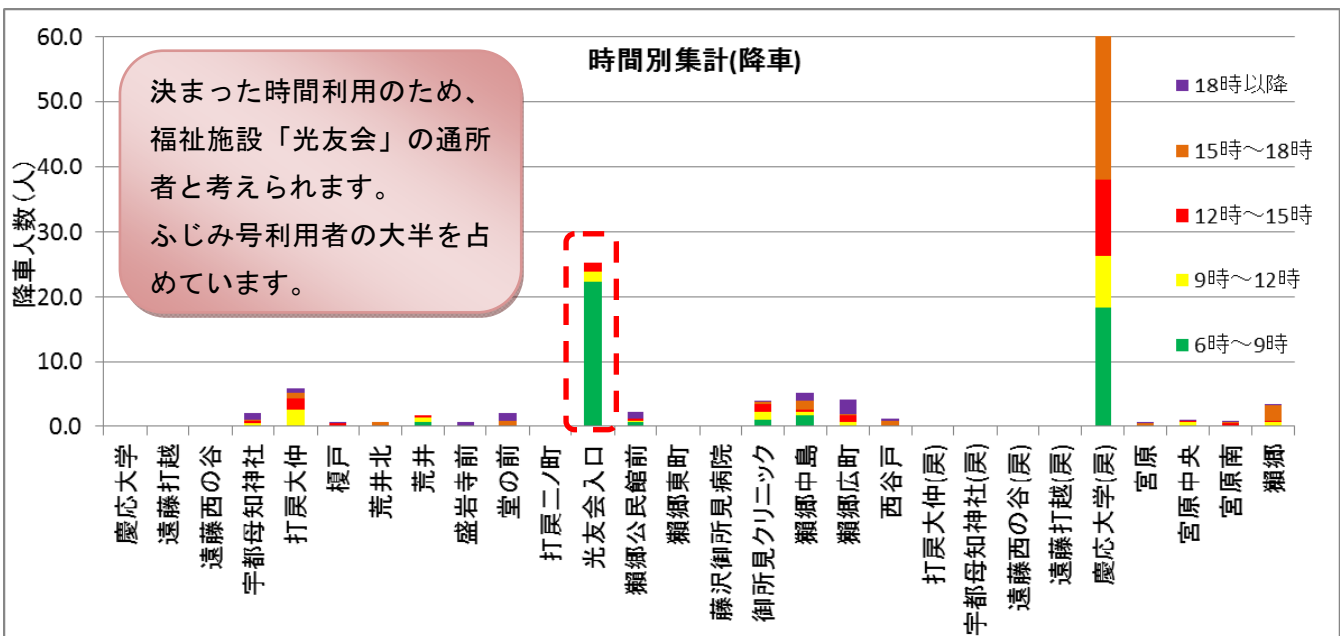
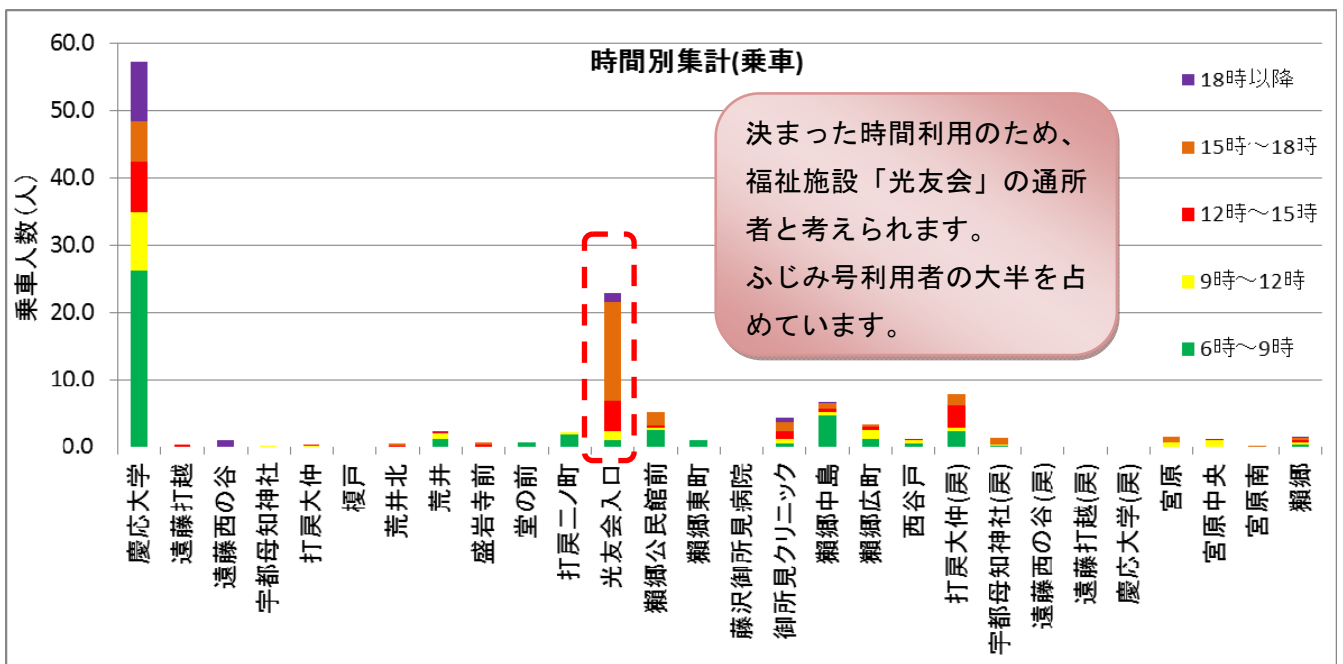


図-10 ふじみ号の平日1日あたりの時間帯ごとの乗降客数状況

【神奈川中央交通(株)データより作成】

(4) ふじみ号の平日1日あたりの各便の平均利用者数

ふじみ号の平日1日あたりの各便の平均乗降客数は次のとおりとなっています。このデータは、2013年(平成24年)8月6日から8月10日間のものです。

- 7時台から8時台に出発する便の利用者が多くなっています。
- 15時台に出発する便の利用者が多くなっています。
- 各便の平均利用者数は最大でも10人に満たない状況となっています。
- 1便あたりの平均利用者数は4人となっています。

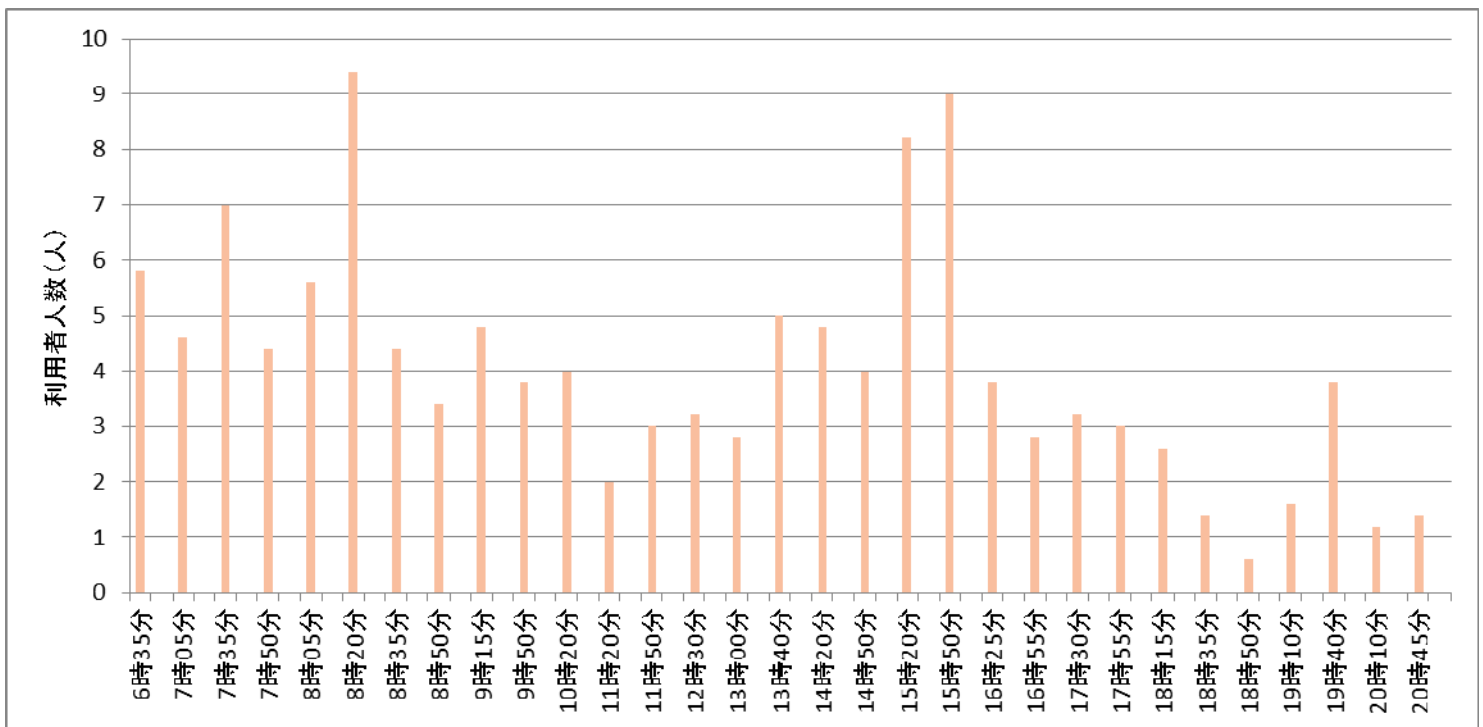


図-11 ふじみ号の平日1日あたりの各便の平均利用者数状況
※慶応大学を出発している時間となっています。

(神奈川中央交通(株)データより作成)

5ふじみ号に関するアンケート調査

(1) アンケート調査対象自治会

御所見地区のふじみ号再編に向けたアンケート調査は、以下の自治会を対象に2012年（平成24年）12月に実施しました。

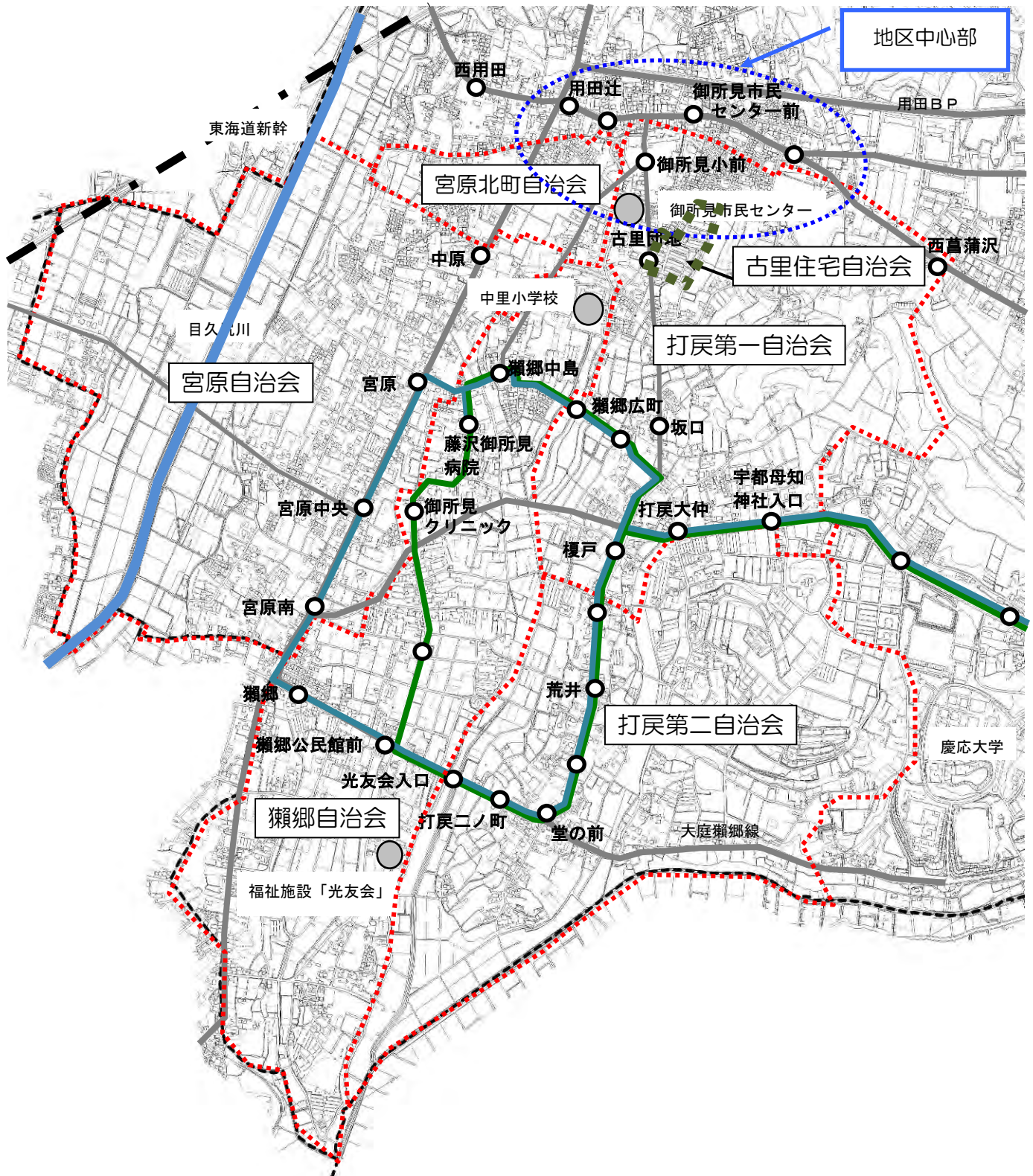


図-12 アンケート対象自治会図

(2) アンケート調査項目

御所見地区のふじみ号再編に向けたアンケート調査項目は、次のとおりとなっています。

ふじみ号アンケート調査のお願い

ふじみ号は、現在、利用者が少なく、赤字が深刻なことから、撤退を含めた検討がされています。路線を維持するために地域の方々に利用していただくことが必要です。

そのため、ふじみ号の利用に向けた調査をしておりますので、世帯の小学生以上の一人ひとりが以下の設問にお答えください。

問1 回答をしていただく方について教えてください。以下の該当するもの一つに○をつけてください。

問1-1 性別 ①男性 ②女性

問1-2 年齢 ①小学生 ②中学生 ③10代で①②以外
④20代～40代 ⑤50代～65歳未満 ⑥65歳以上

問1-3 お住まいの地域：

瀬郷 字〔大六天・雷・大道・広町・大向・中島・中谷・中村・三清〕

問2 ご自宅の最寄りのバス停とバス停までの距離をご記入ください。

(バス停) から 約() m

問3 あなたは、ふじみ号を利用していますか？利用したことがありますか？以下の該当するもの一つに○をつけてください。

① 利用している→ (①毎日 ②週2～3回程度 ③月に数回程度 ④その他 ())

② ほとんど利用していない→ (①年に数回 ②一度だけ)

③ 一度も利用したことがない

②、③を選ばれた方は、利用しない理由について以下のa～cの該当するもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

a 自分で車やバイクを運転し、移動できるから

b 家族等の送迎があるから

c 今のルート・バス停の位置・ダイヤでは使い勝手が悪いから

d ふじみ号に関する情報(ルート・バス停位置・ダイヤなど)を知らないから

e その他〔

問4 ふじみ号は、このままの利用状況では廃止になる可能性が高くなります。存続して欲しいと思いますか？以下の該当するもの一つに○をつけてください。

- ① 絶対に存続して欲しい
- ② 便数を減らしても存続して欲しい
- ③ ルート・ダイヤを利用しやすくしたうえで、存続してほしい
- ④ どちらでも良い
- ⑤ 廃止してもよい

① ②を選ばれた方は、選んだ理由を以下にご記入ください。

[]

問5 ふじみ号のルート再編する場合、どのように再編していけば良いと思いますか？以下の該当するもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

- ① 御所見市民センター、用田方面にも行けるルートにする
- ② 小学校の通学に利用できるルートにする
- ③ 用田方面から藤沢御所見病院、御所見クリニックを利用できるルートにする
- ④ 湘南台駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする
- ⑤ 長後駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする
- ⑥ 時間帯でルートが変わるのが解りづらいので、終日同じルートにする

⑦ その他 []

問6 ルート以外についてふじみ号の利用者を増やすためには、どのようにすれば良いと思いますか？

問6-1 利用者を増やすために効果があると思われるものについて、以下の対策に1～5の順位をつけてください。

- () 時刻表や乗継ぎ情報を示した冊子を御所見地区で配布する。
- () 湘南台駅や辻堂駅で、ふじみ号の乗継ぎ便がわかるように、バス停に示す。
- () 利用者が時間のわかるように御所見地区等の施設で時刻表を張出す。
- () 利用料金を安くする。
- () 地区内で提携する施設(病院・スーパー)で、割引き等のサービスを行う。

問6-2 その他、利用者を増やすために効果があると思われるものについて、何かあれば、ご記入ください。

[]

問7 ふじみ号以外の御所見地区の路線バス全体について、何か意見があればご記入ください。

[]

(3) ふじみ号アンケート調査の集計結果

アンケートの回収率及び集計結果については、次のとおりです。

今回のアンケート調査については、路線の廃止や等の項目についてもアンケート調査を実施したのですが、回収率が46.1%と高く、ふじみ号再編への関心が高いことが伺われます。

各自治会の回収率を見ると、自治会ごとに回収率にばらつきがあります。ふじみ号路線から離れている自治会の方の関心が低くなっていると考えられます。

①自治会ごとのアンケート回収結果

自治会名	世帯数	回答世帯数	回収率(%)	回答人数
宮原自治会	490	246	50.2	652人
宮原北町自治会	235	117	49.8	267人
獺郷自治会	485	248	51.1	663人
打戻第一自治会	485	203	41.9	550人
打戻第二自治会	170	119	70.0	314人
古里住宅自治会	420	121	28.8	199人
合計	2,285	1,054	46.1	2,645人

②アンケート回答者の性別・属性

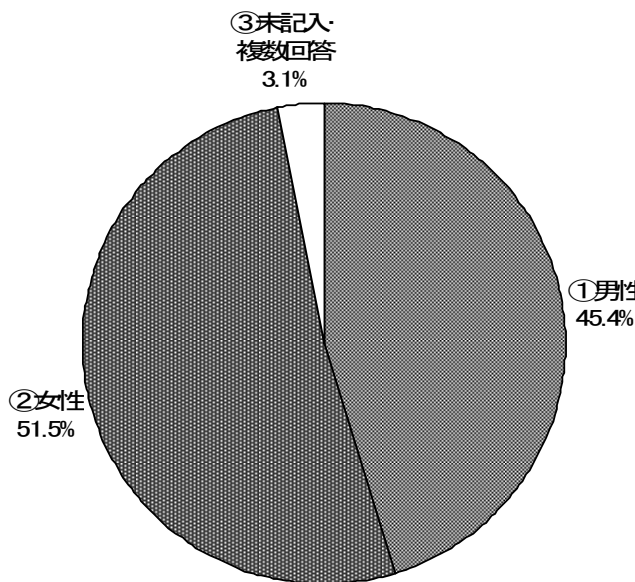


図-13 性別

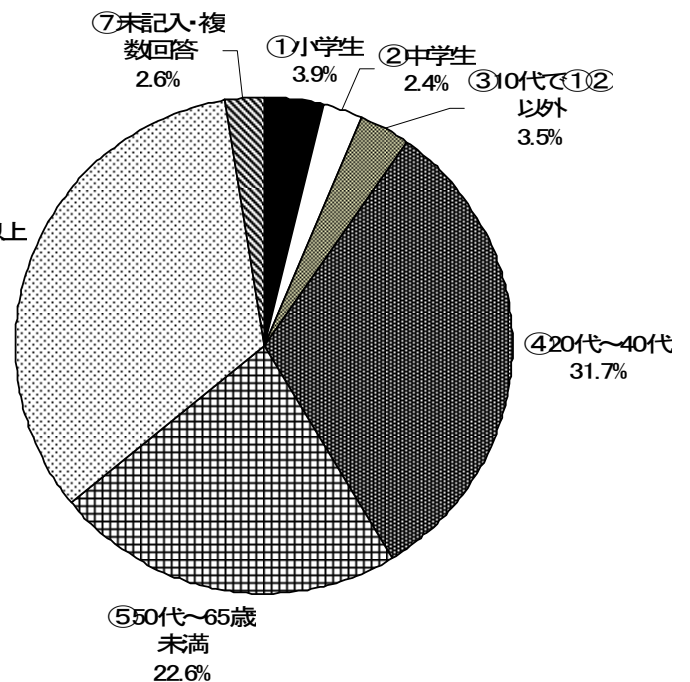


図-14 年齢別属性

③ 存続の意向

ふじみ号存続の意向を見るために、「ふじみ号は、このままの利用状況では廃止になる可能性が高くなります。存続して欲しいと思いますか?」という質問項目を入れました。その回答結果としては、次にとおりとなっています。

ふじみ号の存続を求める意向割合としては、「絶対に存続して欲しい」、「便数を減らしても存続して欲しい」、「ルート・ダイヤを利用しやすくしたうえで存続して欲しい」をあわせた合計が60.8%となっています。

一方で、ふじみ号の存続に対して、「どちらでも良い」、「廃止してもよい」という意向割合の合計が35.5%となっています。このようなアンケート調査結果を踏まえつつ、どの程度の利用者が確保できるかについての検討を進めていきたいと考えています。

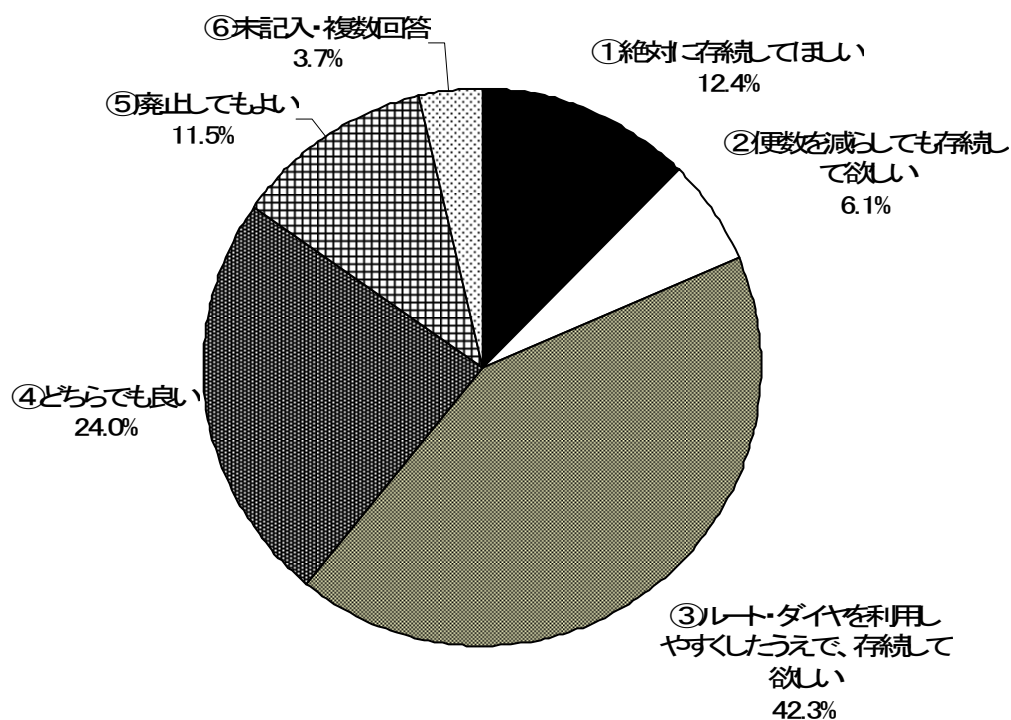
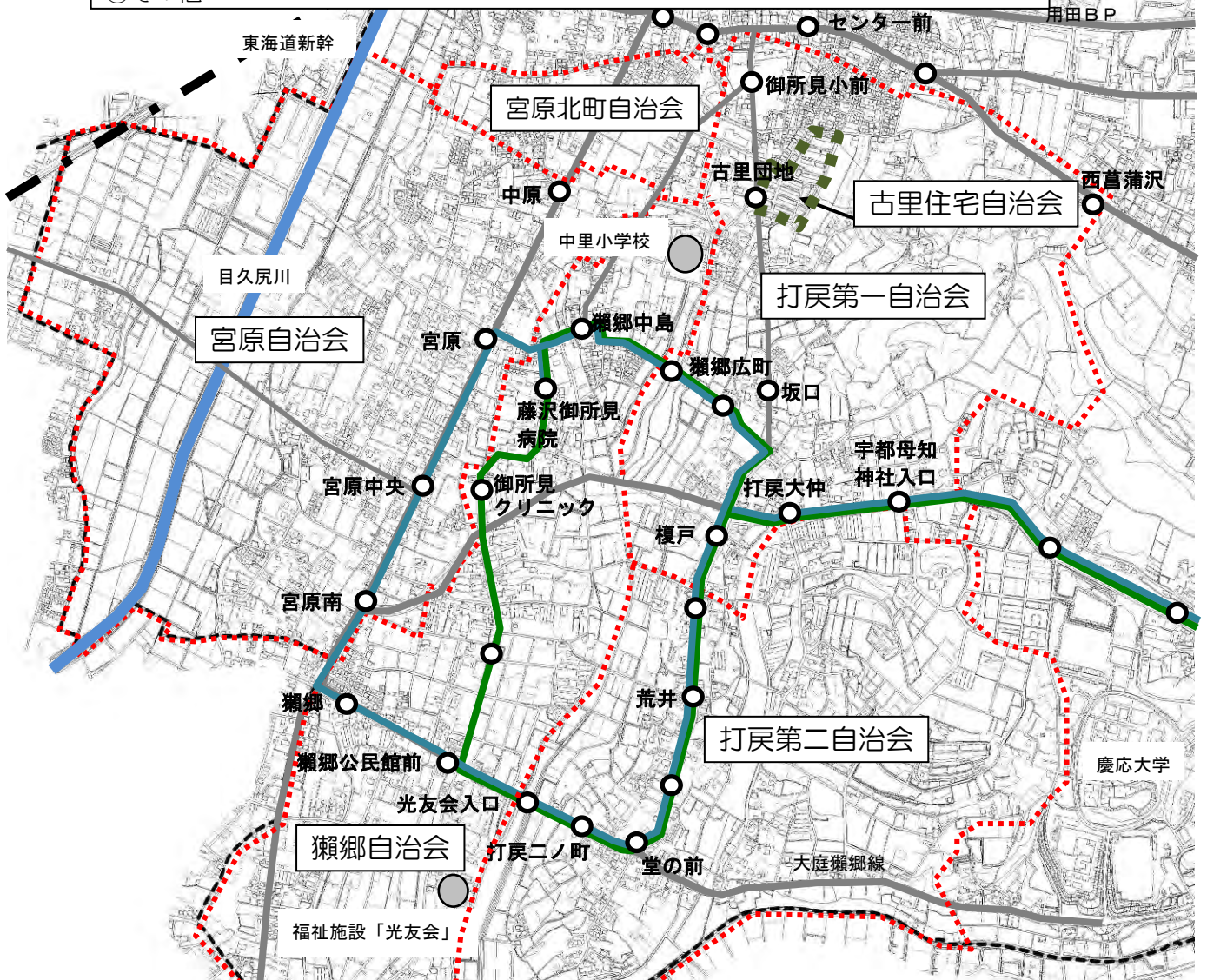


図-15 存続の意向

④ふじみ号再編の方向性に対する意向

ふじみ号再編の方向性に対する意向を見るために、「ふじみ号のルート再編する場合、どのように再編していけば良いと思いますか?」として、「以下の該当するもの全てに○をつけてください。(複数回答可)」という質問項目を入れました。その回答結果としては、次のとおりとなっています。

- ①御所見市民センター、用田方面にも行けるルートにする。
- ②小学校の通学に利用できるルートにする。
- ③用田方面から藤沢御所見病院、御所見クリニックを利用できるルートにする。
- ④湘南台駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする。
- ⑤長後駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする。
- ⑥時間帯でルートが変わるのが解りづらいので、終日同じルートにする。
- ⑦その他



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
宮原	29.9%	9.2%	9.0%	75.5%	27.5%	25.5%	12.3%
宮原北町	34.5%	16.1%	37.5%	59.6%	27.3%	19.9%	6.7%
瀬郷	32.0%	19.6%	9.2%	72.9%	19.0%	22.0%	7.7%
打戻第一	41.5%	12.5%	15.8%	68.7%	20.4%	17.6%	8.2%
打戻第二	40.4%	17.5%	10.8%	63.4%	10.5%	21.7%	8.6%
古里住宅	30.7%	7.5%	19.1%	57.8%	32.2%	16.1%	9.0%
合計	34.6%	14.1%	14.3%	69.0%	22.2%	21.2%	9.0%

図-16 アンケート対象自治会図

⑤ふじみ号の利用促進に有効と考えられる施策

ふじみ号再編の方向性に対する意向を見るために、「ふじみ号のルート再編する場合、どのように再編していけば良いと思いますか?」として、「以下の該当するもの全てに○をつけてください。(複数回答可)」という質問項目を入れました。その回答結果としては、次のとおりとなっています。

ふじみ号の利用促進に有効と考えられる施策に対する意向を見るために、「利用者を増やすために効果があると思われるものについて、以下の対策に1～5の順位をつけてください。」という質問項目を入れました。その回答結果としては、次のとおりとなっています。

ふじみ号利用者への情報提供の重要度が高い傾向にあります。一方で、料金に関する事項については、重要度が比較的低い傾向にあります。

○最も有効と考えられる施策（1位）

施 策 内 容	割 合
時刻表や乗継ぎ情報を示した冊子を御所見地区に配布する。	36.0%
湘南台駅や辻堂駅で、ふじみ号の乗継ぎ便がわかるように、バス停に示す。	29.1%
利用者が時間のわかるように御所見地区等の施設で時刻表を張出す。	11.0%
料金を安くする。	18.3%
地区内で提携する施設（病院・スーパー）で、割引き等のサービスを行う。	5.6%

○重要度が低いと考えられる施策（5位）

施 策 内 容	割 合
時刻表や乗継ぎ情報を示した冊子を御所見地区に配布する。	9.5%
湘南台駅や辻堂駅で、ふじみ号の乗継ぎ便がわかるように、バス停に示す。	12.1%
利用者が時間のわかるように御所見地区等の施設で時刻表を張出す。	8.0%
料金を安くする。	30.0%
地区内で提携する施設（病院・スーパー）で、割引き等のサービスを行う。	40.5%

(4) ふじみ号利用頻度によるアンケート調査結果分析

ふじみ号利用頻度に応じて、アンケート調査結果を分析しました。

①ふじみ号存続の意向

ふじみ号存続の意向については、利用頻度によって、大きく違いがあることが分かります。

ふじみ号の利用頻度に応じて、Aランクを再編にあたって十分に配慮すべき層、Bランクを新たな需要を創出する層、Cランクを基本的に利用者とならない層として3分類し、再編の検討に役立てて行きたいと考えています。

Cランク層については、この層の日常的な移動手段等を勘案して、ふじみ号利用への転換など考慮すべき点があるかを検証して行きます。

分類	利用頻度	回答人数	割合
Aランク	毎日、週2～3回利用する人	80人	3.5%
Bランク	月数回	247人	10.7%
Cランク	年数回、1度、未利用	1,978人	85.8%

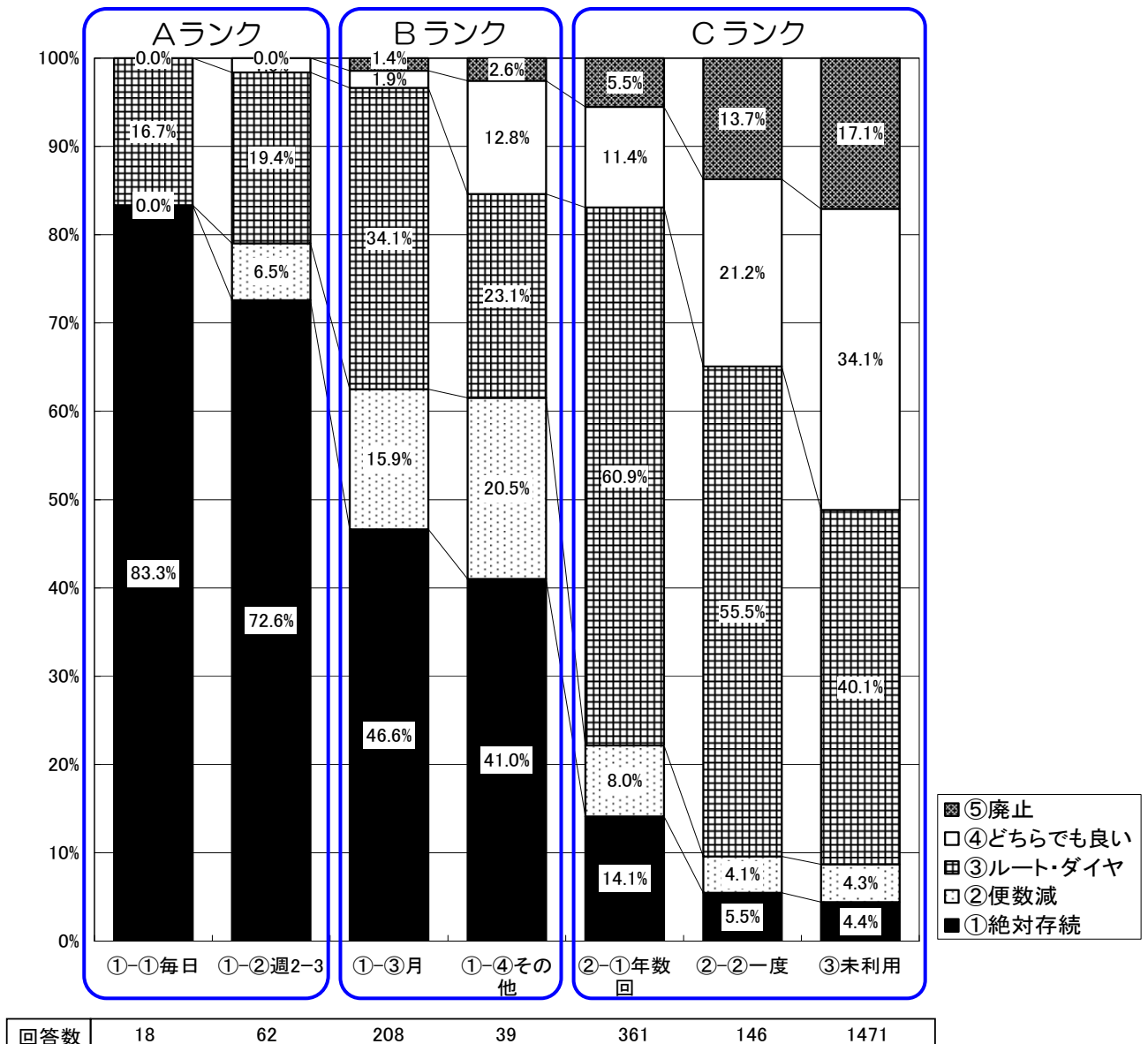


図-17 ふじみ号存続の意向(利用頻度別)

利用頻度	①-① 毎日	①-② 週2~3日	①-③月	①-④ その他	②-① 年数回	②-② 一度	③未利用
⑤廃止	0.0%	0.0%	1.4%	2.6%	5.5%	13.7%	17.1%
④どちらでも良い	0.0%	1.6%	1.9%	12.8%	11.4%	21.2%	34.1%
③ルート・ダイヤ	16.7%	19.4%	34.1%	23.1%	60.9%	55.5%	40.1%
②便数減	0.0%	6.5%	15.9%	20.5%	8.0%	4.1%	4.3%
①絶対存続	83.3%	72.6%	46.6%	41.0%	14.1%	5.5%	4.4%

②ふじみ号再編の方向性

ふじみ号再編の方向性については、利用頻度がA、Bランクとされた方のご意見では、次に示す①、④、⑥の割合が高く、さらに、検証して行くことが重要と考えられます。

- ①御所見市民センター、用田方面にも行けるルートにする。
- ②小学校の通学に利用できるルートにする。
- ③用田方面から藤沢御所見病院、御所見クリニックを利用できるルートにする。
- ④湘南台駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする。
- ⑤長後駅へ乗り継ぎがなく直通で行かれるルートにする。
- ⑥時間帯でルートが変わるのが解りづらいので、終日同じルートにする。
- ⑦その他

○ふじみ号再編の方向性（利用頻度別）

分類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
Aランク	41.0%	15.7%	19.3%	71.1%	22.9%	27.7%	15.7%
Bランク	41.8%	13.5%	8.4%	80.9%	19.9%	27.9%	14.7%
Cランク	33.0%	14.0%	14.8%	66.7%	22.2%	20.8%	8.3%

○Aランクで、⑦その他と回答された方のコメントは以下のように分類されます。

①ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・御所見病院には専用の送迎バスがあるのでルートに含めなくて良い。その方が時間を短縮できスムーズに運行できると思う。 ・ふじみ号の難点はルートの範囲の狭さだと思います。 ・⑥は終日右小回りルート(湘南台駅までの短距離ルート) ・休日に少年の森に行くルートを作る。 ・宮原園西側のルートまできてほしい。 ・百石原にバス停がほしい。午前中2本、午後2本くらいでもよい。 ・宮原神社や小谷方面まで路線を広げる。
②直通・乗り継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・直通でなくても、辻堂、湘南台へ行ける乗り継ぎ時間を工夫してください。 ・現在も慶応大学での乗継が悪く、乗車できないことが多いので、せめて乗り継ぎのタイミングをあわせてほしいです。 ・乗り継ぎなしで湘南台駅まで行ける。 ・慶応での乗り継ぎがスムーズにできるようにする。
③時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の本数は減ってもいいので朝夕(通勤)の本数を増やしてほしい。夜21時~22時位まで走ってほしいです。19時台だと帰りに利用できない。

(5) ふじみ号利用の年齢別・利用頻度によるアンケート調査結果分析

ふじみ号利用の年齢別・利用頻度に応じて、アンケート調査結果を分析しました。

①ふじみ号利用頻度（年代別）

ふじみ号利用の年齢別から利用頻度を見ると、中学生や10代（小学生、中学生を除く）年齢層の利用が他の年齢層と比較して多いことがわかります。一方で、高齢者となる65歳以上の年齢層は、20歳から64歳までの年齢層と大きく異なる傾向が見られないことがわかります。高齢者層については、もう少し分析して行く必要があると考えています。

○ふじみ号利用頻度（年代別）

利用頻度	小学生	中学生	10代 (小中除)	20-49歳	50-65歳	65歳以上
③未利用	74.2%	53.6%	50.0%	66.8%	61.9%	65.2%
②-②一度	4.3%	7.1%	3.6%	5.1%	7.9%	6.5%
②-①年数回	12.9%	21.4%	22.6%	15.5%	17.3%	13.1%
①-④その他	3.2%	0.0%	3.6%	1.6%	0.9%	2.0%
①-③月	1.1%	8.9%	11.9%	7.6%	8.3%	10.8%
①-②週2-3	3.2%	7.1%	4.8%	2.0%	3.2%	2.3%
①-①毎日	1.1%	1.8%	3.6%	1.3%	0.4%	0.1%

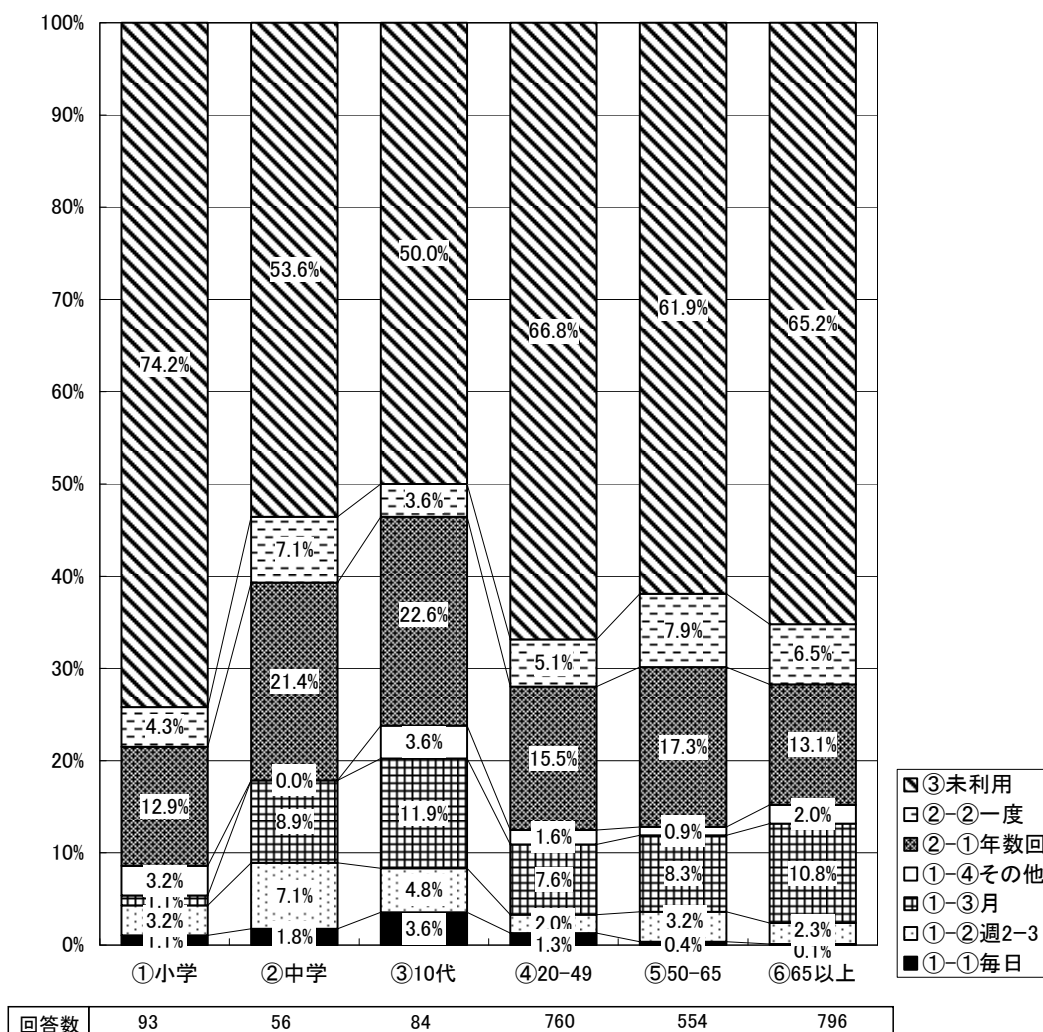


図-18 ふじみ号利用頻度（年代別）

②ふじみ号存続の意向（年代別）

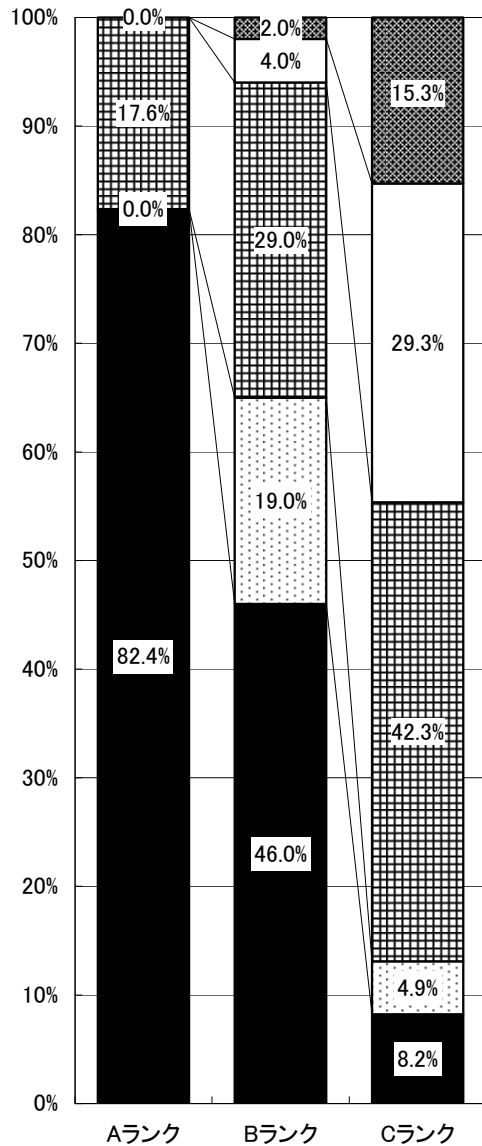
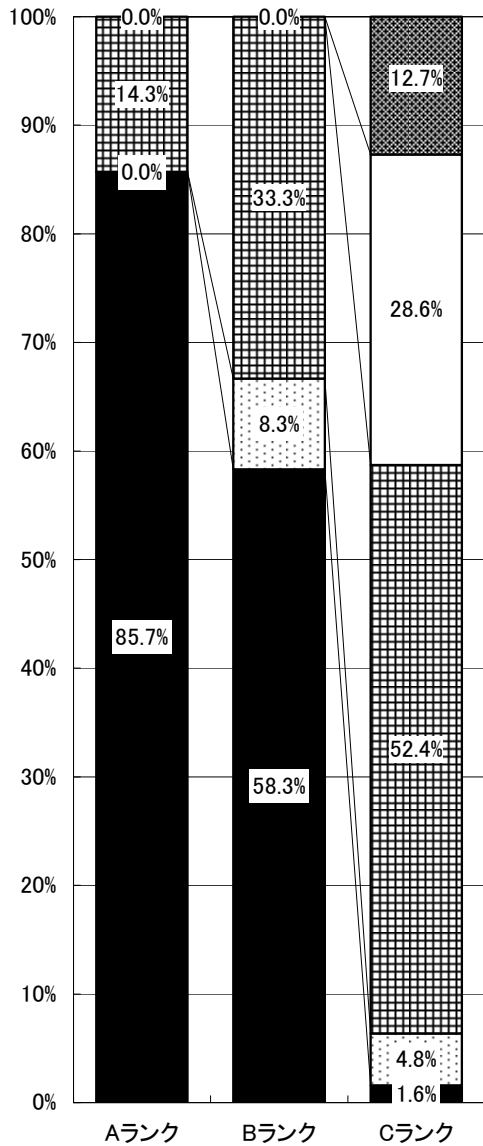
ふじみ号存続の意向について、いわゆる交通弱者とされている10代と65歳以上を比べて見ると、両世代ともAランク、Bランクでは絶対存続、ルート・ダイヤ変更がほとんど占めています。Cランクでも50%以上が存続の意向にあることが分かります。

○ふじみ号存続の意向（10代）

○ふじみ号存続の意向（65歳以上）

利用頻度	Aランク	Bランク	Cランク
⑤廃止	0.0%	0.0%	12.7%
④どちらでも良い	0.0%	0.0%	28.6%
③ルート・ダイヤ	14.3%	33.3%	52.4%
②便数減	0.0%	8.3%	4.8%
①絶対存続	85.7%	58.3%	1.6%

	Aランク	Bランク	Cランク
⑤廃止	0.0%	2.0%	15.3%
④どちらでも良い	0.0%	4.0%	29.3%
③ルート・ダイヤ	17.6%	29.0%	42.3%
②便数減	0.0%	19.0%	4.9%
①絶対存続	82.4%	46.0%	8.2%



■ ⑤廃止
 □ ④どちらでも良い
 ▨ ③ルート・ダイヤ
 ▩ ②便数減
 ■ ①絶対存続

回答数	7	12	63	回答数	17	100	634
-----	---	----	----	-----	----	-----	-----

図-19 ふじみ号存続の意向（左：10代・右：65歳以上）

③ふじみ号を利用していない高齢者の意向（65歳以上）

現在、ふじみ号を利用していない、ほとんど利用していない65歳以上の高齢者の意向を見ると、約60%の方が、自分で車・バイクを運転するか、家族の送迎により移動していることがわかります。今後、この高齢者世代が運転免許の返納などにより、自分で運転しなくなった時に、ふじみ号が移動手段として重要な役割を担って行くことが想定されます。

また、約30%程度の方が、現行のふじみ号のルート・バス停の位置・ダイヤでは使い勝手が悪いこと、ふじみ号の情報を知らないことを利用しない理由としており、再編に向けては、このようなことも踏まえた施策を展開して行く必要があります。

○ふじみ号を利用していない高齢者の意向（65歳以上）

利用頻度	②ほとんど利用していない	③未利用
e その他	8.4%	9.1%
d ふじみ号に関する情報（ルート・バス停位置・ダイヤなど）を知らないから	2.1%	9.1%
c 今のルート・バス停の位置・ダイヤでは使い勝手が悪いから	29.4%	20.2%
b 家族等の送迎があるから	21.0%	25.1%
a 自分で車やバイクを運転し、移動できるから	39.2%	36.6%

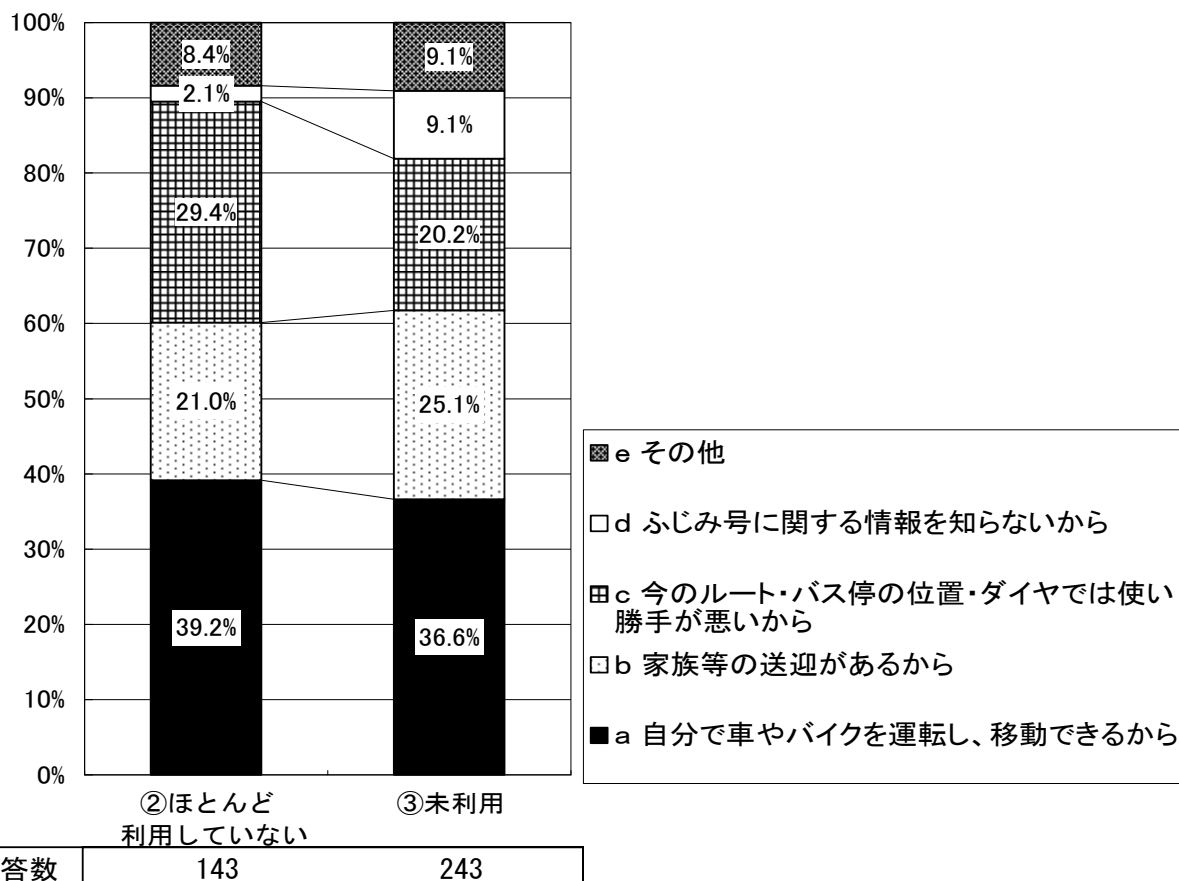


図-20 ふじみ号を利用していない高齢者の意向（65歳以上）

○ふじみ号を利用していない高齢者の意向（65歳以上）※その他意見

利用頻度	主な意見（人数）
②ほとんど利用していない	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ号の利用に不便を感じるため（5） （乗継ぎが悪い、料金が高い、行きたい所がルートにない） ・バス停が遠いため（3） ・身体が不自由なため（2） ・古里団地辺りを通るルートにしてほしい（1）
③未利用	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停が遠いため（6） ・身体が不自由なため（5） ・ふじみ号の利用に不便を感じるため（5） （乗継ぎが不便、御所見市民センターへのルートがない、神奈中のバスより本数が少ない） ・ふじみ号以外のバス停の方が近い、または駅へ出るのに便利のため（3） ・外出をあまりしないため（2）

6 ふじみ号再編に向けた交通課題

(1) 人口密度が低い地域を踏まえた再編策の検討

御所見地区は、従業人口、病院・商業施設・学校等も少ないため、周辺施設の利用者を増やすことは難しい状況にあります。このため、アンケート調査による地元意向を踏まえつつ、需要喚起につながる、ルートなど利用しやすい公共交通として再編策を検討して行く必要があります。

(2) ふじみ号などバス交通の情報提供策の検討

アンケート調査結果を見ると、バス利用者への情報提供の重要度が高い傾向にあります。このため、地域へのバス交通の情報提供を積極的に行う必要があります。

(3) ふじみ号利用者の意向を踏まえた利用促進策の検討

アンケート調査結果を踏まえつつ、さらに利用者のヒアリング調査を実施するなどを行いながら、ルートの改善、乗継利便性の向上、通勤時間帯の利便性の向上を検討して行く必要があります。

7 ふじみ号再編に向けた今後の展開について

(1) ふじみ号再編に向けた方向性

- ・長 17 系統（長後駅から宮原南）を別系統として、湘南台から宮原南を経由して用田辻方面に至る系統とすることを検討します。
- ・ふじみ号の運行密度を利用される時間に応じて調整します。
- ・ふじみ号の御所見中心地区中部（御所見市民センター等）方面の接続の可能性について検討します。

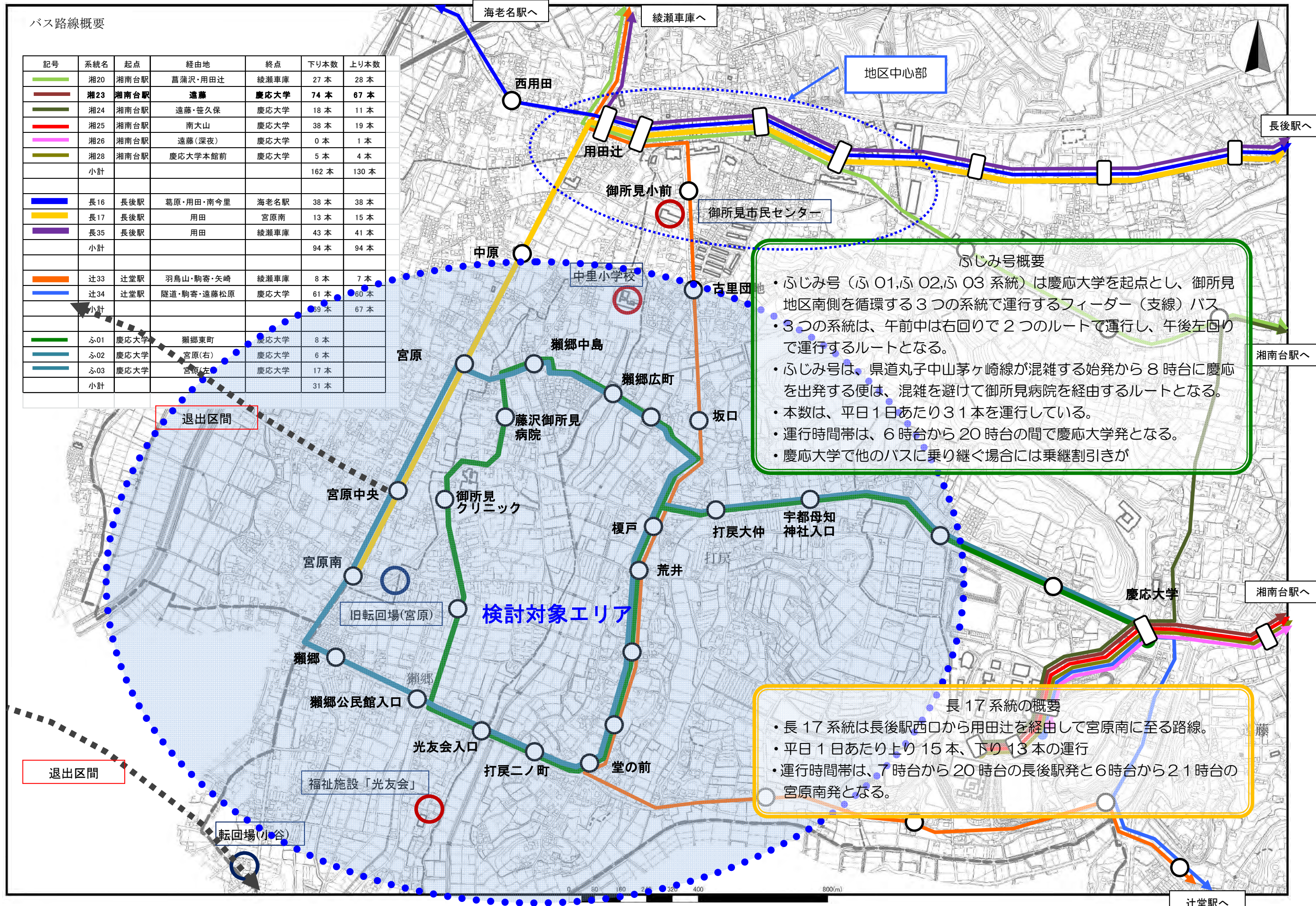
(2) ふじみ号再編に向けた調査の深度化等

- ・ふじみ号及び長 17 系統(長後駅西口～宮原南)の利用者に対する意向調査（神奈中と協力して乗込み調査）実施の検討。
- ・ふじみ号の主な利用者である光友会との調整。
- ・老人会等の高齢者団体への聞き取り調査実施の検討。
- ・地域へのふじみ号利用促進に向けた情報提供など取組みの実施。
- ・この他関係団体へのヒアリング調査の実施。 等

7 参考資料（御所見地区のバス路線現況）

バス路線概要

記号	系統名	起点	経由地	終点	下り本数	上り本数
■	湘20	湘南台駅	葛蒲沢・用田辻	綾瀬車庫	27本	28本
■	湘23	湘南台駅	遠藤	慶応大学	74本	67本
■	湘24	湘南台駅	遠藤・笹久保	慶応大学	18本	11本
■	湘25	湘南台駅	南大山	慶応大学	38本	19本
■	湘26	湘南台駅	遠藤(深夜)	慶応大学	0本	1本
■	湘28	湘南台駅	慶応大学本館前	慶応大学	5本	4本
小計					162本	130本
■	長16	長後駅	葛原・用田・南今里	海老名駅	38本	38本
■	長17	長後駅	用田	宮原南	13本	15本
■	長35	長後駅	用田	綾瀬車庫	43本	41本
小計					94本	94本
■	辻33	辻堂駅	羽鳥山・駒寄・矢崎	綾瀬車庫	8本	7本
■	辻34	辻堂駅	隧道・駒寄・遠藤松原	慶応大学	61本	60本
小計					69本	67本
■	ふ01	慶応大学	瀬郷東町	慶応大学	8本	
■	ふ02	慶応大学	宮原(右)	慶応大学	6本	
■	ふ03	慶応大学	宮原(左)	慶応大学	17本	
小計					31本	



ふじみ号概要

- ・ふじみ号（ふ 01, ふ 02, ふ 03 系統）は慶応大学を起点とし、御所見地区南側を循環する3つの系統で運行するフィーダー（支線）バス
- ・3つの系統は、午前中は右回りで2つのルートで運行し、午後左回りで運行するルートとなる。
- ・ふじみ号は、県道丸子中山茅ヶ崎線が混雑する始発から8時台に慶応を出発する便は、混雑を避けて御所見病院を経由するルートとなる。
- ・本数は、平日1日あたり31本を運行している。
- ・運行時間帯は、6時台から20時台の間で慶応大学発となる。
- ・慶応大学で他のバスに乗り継ぐ場合には乗継割引が

長17系統の概要

- ・長17系統は長後駅西口から用田辻を経由して宮原南に至る路線。
- ・平日1日あたり上り15本、下り13本の運行
- ・運行時間帯は、7時台から20時台の長後駅発と6時台から21時台の宮原南発となる。

御所見地区のバス路線と人口分布状況

バス路線と対象エリア人口分布概要

- 対象エリアの人口分布は、宮原中央を中心としたエリアおよび対象範囲の北側の中原近傍の人口が多くなっています。
- ふじみ号が運行する南東側および東側のエリアは、居住者が少なくなっています。

